

科目	単位(時間数)	時期	講師名(職名)(時間数)
地域母子保健	2(45)	1学期	① 大島 泉 (医師) (4)
			② 鍋田 淑華 (医師) (7)
		2学期	③ 淵元 純子 (助産師) (12)
			④ 中村 由美子 (助産師) (4)
			⑤ 左古 かず子 (助産師) (4)
			⑥ 山本 淳子 (保健師) (2)
			⑦ 松倉 崇 (医師) (10)
			⑧ 塩川 紗衣 (助産師) (2)

目 標

助産師として地域で提供できる母子保健サービスと、多職種と連携・協働しながら地域の母子保健を推進するための基礎的知識を修得できる。

回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	2	地域母子保健活動の意義、構造と機能	1) 地域母子保健の概念 2) 地域母子保健活動の歴史	講義	①大島 泉
2	2		3) 母子保健行政 ①主な母子保健施策 ②基盤整備 ③予防接種	講義	
3	2	母子保健をめぐる社会環境の変化と新たな課題と対策	1) 母子保健の課題と対策 ①思春期における健康教育	講義	②鍋田 淑華
4	2		②児童虐待予防 2) 地域母子保健のめざすもの	講義	
5	2	地域母子保健活動の計画と展開	1) 地区把握とヘルスプロモーション	講義	③淵元 純子
6	2	地域母子保健の推進に必要な地区組織活動の育成と支援	1) 地域助産師による組織活動と行政や医療機関・民間組織(愛育班、母子保健推進員、子育てグループネットワーク等)との連携 ①子育て世代包括支援センター ②地域の子育てネットワークづくり ③児童虐待、DV、外国籍の母子への支援	講義	
7	2	地域母子保健活動における助産師の役割	1) 開業助産師による母子保健活動 ①産後ケア事業 ②母子訪問(妊産婦訪問指導・新生児訪問指導・乳児家庭全戸訪問事業ほか) (ベビーマッサージ演習)	講義 演習	
8	2		③地域における講師活動-出前講座- ④相談事業-電話相談、来所相談、訪問指導	講義	
9	2		2) 関係施設との連携と助産師会の地域活動	講義	

10	2	地域母子保健活動の実際	1) 助産師活動と開業 2) 開業助産師の業務の独自性 ①助産所業務ガイドライン ②地域における連携 ③オープンシステム	講義 演習	④中村 由美子
11	2		3) 家庭分娩における助産ケア (フリースタイル分娩介助演習) ①出張助産 -自宅分娩における助産師の役割- ②自宅分娩の準備、留意事項		
12	2		1) 国際協力活動	講義	
13	2		2) 海外における助産師活動		
14	2	市町村における母子保健活動	1) 京都市における母子保健行政 ①保健センターの概況、地域特性 ②妊娠の届出および母子健康手帳の交付 ③乳児全戸訪問事業 ④乳幼児健康診査 ⑤医療機関との連携 ⑥虐待予防 児童相談所・福祉事務所との連携	講義	⑥山本 淳子
15	2	乳幼児の形態機能的成長、栄養	1) 乳幼児の成長発達の基礎理論 ・乳幼児の特徴と諸問題 ・乳幼児の発達(生理機能・運動・精神)	講義	⑦松倉 崇
16	2		2) 胎児循環と新生児循環 ・先天性心疾患	講義	
17	2		3) 乳幼児の疾患 ・先天性代謝異常症、悪性新生物、栄養障害	講義	
18	2		4) 消化器疾患、中枢神経系・筋肉疾患、代謝性疾患	講義	
19	2		5) 新生児・乳児の外科疾患 (胸腹部疾患)	講義	
20	2	乳幼児の健康診査	1) 乳幼児の正常発達と健康診査システム ・乳幼児健診システム ・4か月児健診、8か月児健診、1.6歳児健診、3歳児健診の要点 2) 乳幼児の異常発達とそれらに対する援助方法 3) 乳幼児健診の診査の技法 (問診、身体診査)	講義 演習	③淵元 純子
21	2		1) 乳児1か月健康診査の実際(演習) ロールプレイ	演習	⑧塩川 紗衣
22	2		1) 乳幼児の非定型発達と援助方法	講義	②鍋田 淑華
23	1	終講試験 (45分)			②

授業形態	講義、演習
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 (講師①・講師② 30点、講師③ 30点、講師⑦ 40点) 履修規程第5条、第6条に定めるとおりとする。
テキスト	講師①②③⑤⑥ ・助産学講座 9 講師④ ・助産学講座 10 講師⑦ ・助産学講座 8 講師⑧ ・助産学講座 8 ・助産師基礎教育テキスト 6
参考図書等	・国民衛生の動向 2023/2024 ・京都市保健事業のてびき (印刷配布)
備考	講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。